

No.	意見内容	事務局考え方	計画への反映（案）		
			主要課題	基本目標/施策分野	分野横断
1	若い世代に選ばれるには、住環境と働く場所の創出が不可欠である。医療、福祉、農業、観光、再生可能エネルギーを結合させた地域循環型システムが必要と考えている。公共施設の統廃合だけでなく、日常生活圏内に施設を充実させることが大事。	人口減少の中においても、若者に選ばれることは、今回の大きなテーマの1つ。市民の暮らしの充実を図るために、様々な分野の取組を推進していく。課題（1）に「 <b>医療・福祉・農業・観光・再生可能エネルギー等がつながる地域循環システムを構築</b> 」を追記。新たな将来像の実現に向け、 <b>基本計画</b> で各分野の課題を解決していく施策の展開を図る。	○	<b>【基本目標2】</b> ・自然環境 ・住環境 <b>【基本目標3】</b> ・商工業 ・観光 ・農業・水産業 ・企業誘致	シティプロモーション
2	防災については、避難所の環境改善（トイレ、キッチン、ベッドのTKB）が必要。また、災害時への対策として、ボランティア等が日常から訓練できる環境づくりも重要。	南海トラフ巨大地震発生の懸念が高まる中、減災において、重要な視点となるため、基本計画で方針として示していくことを検討する。		<b>【基本目標1】</b> ・地域福祉 <b>【基本目標2】</b> ・防災、減災	
3	年間962万人の観光客が来る中、南海トラフ地震発生時の帰宅困難者（1日2万5千人規模想定）の受け入れや備蓄は考慮されているのか。	観光が重要な産業の一つとなっている淡路市にとって、観光客の安全性についても検討していく必要はあると考える。課題（5）に「 <b>避難所となる体育館への空調設備の設置などの避難所環境の改善、観光客も含めた災害への備えを強化する</b> 」を追記。	○	<b>【基本目標2】</b> ・防災、減災 <b>【基本目標3】</b> ・観光	
4	企業側から見れば、実は「人材不足」が深刻。子どもの頃から地元の企業を知る機会を増やすべき。	子どもの頃から地元企業を知り、地域で働く魅力に触れる機会の充実を図る。		<b>【基本目標1】</b> ・学校教育 <b>【基本目標3】</b> ・商工業	
5	移住者が地域コミュニティに馴染めず離れてしまう例もあるため、繋がりづくりも大きな課題。	淡路市でも地区によって、文化の違いはあると考えている。地区の良さを保ちつつ、柔軟な生活環境の構築が求められているため、双方の視点に立ち、移住施策の展開を図る。		<b>【基本目標1】</b> ・市民交流 <b>【基本目標2】</b> ・移住・定住	シティプロモーション
6	主要課題の柱が少し偏っている印象。「地域福祉」「健康・医療」も一つの柱として残すべきと考える。	まちづくりにおいて、あらゆる分野に取り組んでいくことはこれまでと変わりはない。今回記載している課題は、時代の潮流などを受けて、さらに力を入れていく必要があることや、第2次計画で解決できていない課題を抽出している。この課題がそのまま第3次の柱ではない。		<b>【基本目標1】</b> ・健康福祉 ・地域福祉	DX

No.	意見内容	事務局考え方	計画への反映(案)		
			主要課題	基本目標/施策分野	分野横断
7	食の自給率の高さを生かした雇用や産業も重要。	淡路市の特徴として捉えて、基本計画や総合戦略の施策の展開を図っていく。		【基本目標3】 ・農業、水産業 ・商工業	
8	「場づくり」が不足していると考え。大人が集まる場所、子どもが学習する場所、多世代が交流できる拠点を盛り込んでほしい。	「場づくり」が不足している点については、市としても認識している。基本計画等での施策を検討する。		【基本目標1】 ・地域福祉 ・市民交流 ・生涯学習、スポーツ	
9	「働くこと」自体をテーマにすべき。働き方の多様性や市内企業の魅力を伝える項目が必要。	シティプロモーションのテーマとして検討する。		【基本目標3】 ・商工業 ・企業誘致	シティプロモーション
10	高齢者が増える中、健康寿命を延ばすための「健康づくり」を項目に入れていただきたい。	基本計画の健康分野において、施策を検討する。		【基本目標1】 ・健康福祉 ・高齢者福祉	DX
11	中学生のアンケート1位は「事故や犯罪の少ない安心なまち」であるため、自転車通学の安全や防犯を地域で守る体制を明記してほしい。	子どもを含めた若い世代が安心して暮らせる環境は、重要と考えている。課題(3)に「 <u>若い世代が望む「事故や犯罪が少ないまち」を実現するため、地域で見守る体制も求められています。</u> 」を追記。防犯等の分野でも施策を検討する。	○	【基本目標1】 ・学校教育 ・地域福祉 【基本目標2】 ・道路・交通 ・防災・減災	DX
12	高齢者対策が抜けている。淡路市をこれまで支えてきた高齢者に優しいまちこそが根幹だと考える。	まちづくりにおいて、あらゆる分野に取り組んでいくことはこれまでと変わりはない。今回記載している課題は、時代の潮流などを受けて、さらに力を入れていく必要があることや、第2次計画で解決できていない課題を抽出している。この課題がそのまま第3次の柱ではない。		【基本目標1】 ・地域福祉 ・高齢者福祉	DX
13	観光客増による負の側面(ゴミのポイ捨て、トイレ問題、騒音、渋滞)への対策も行政として検討すべき。	観光産業が基幹産業の一つとなっている中で、住民との生活のバランスは重要な視点。国の「観光立国推進基本計画(第5次)」においても、柱として「インバウンドの戦略的な誘客と住民生活の質の確保との両立」を掲げられている。課題(4)に「 <u>住民の生活とのバランスをとりながら、</u> 」を追記。基本計画や戦略で施策を検討する。	○	【基本目標2】 ・自然環境 ・道路・交通 ・観光	
14	子どもの居場所作りが大切で、特に中学校の部活動の地域移行により、経済的・移動の理由で活動を諦める子が出ないか心配している。移動手段は大きな課題となっている。部活に入らない子どもの受け皿についても検討していくことが必要。	部活動の地域移行については、子どもたちが置かれている環境の大きな変化であると捉えている。国の「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」も踏まえ、子どもたちにとって、よりよい環境の構築に努めていく。		【基本目標1】 ・学校教育 ・生涯学習、スポーツ 【基本目標2】 ・道路・交通	